



館岩自然の教室

校長 五十嵐 圭一

今年の2月は、寒暖の差が激しく体調管理が難しい日々が続きましたが、ようやく明るい陽ざしに春の訪れを感じるようになってきました。保護者、地域の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、2年生は、2月15日（金）から17日（日）の2泊3日の日程で、福島県南会津郡南会津町（旧館岩村）にある、さいたま市立館岩少年自然の家にて自然の教室を実施しました。天候には比較的恵まれたものの、最低気温が氷点下13度、積雪量は90cmを超えるなど、冬の館岩はまさに極寒の地でした。生徒たちは、このような厳しい環境に負けることなく、「友思友愛 僕らの雪山旅日記～みんなで1つの雪だるまになろう～」をスローガンに、元気よく活動しました。生徒たちの感想からも、「あれほどたくさんの雪に触れたのは初めてだったので、雪の上を歩くことも、スキーをすることも新鮮で感動しました。」「1日目に頂上に行って晴れていたきれいな景色が一番の思い出です。」「最高の館岩になりました。実行委員みんなの働きぶりに感動です。」など、その活動が充実していたことが伺えます。



【スキー実習の様子】

今年の2年生は、昨年5月にオープンした新館「からまつ館」に宿泊し、木の温もりと香りの漂う素晴らしい施設で活動しましたが、館岩少年自然の家の歴史は古く、約38年前までさかのぼります。旧大宮市立少年自然の家として昭和56年に開設され、以来自然体験活動の拠点として、多くの児童生徒が活動してきました。開設当時は東北自動車道等が十分に整備されておらず、自然の家まで、日光、五十里湖経由で5時間以上かかりました。近くには桧枝岐（ひのえまた）温泉や尾瀬沼、たかつえスキー場など、多くの観光地等もあり、さいたま市からやや時間はかかるものの豊かな自然体験活動に取り組むことができます。

一方、3年生は、昨日2月28日（木）、県公立高校の学力検査を終えました。本年度の県内の中学校の卒業予定者は、約6万4千人。この内、2月25日現在、全日制の県公立高校を希望する生徒は、4万3,586人。全日制の県公立高校の募集人員が3万7,640人（転編入入学者を除く）ですので、1.16倍となり、前年度と同じ倍率となりました。また、入学許可候補者の発表は、8日（金）午前9時、それぞれの高校で行われます。

最後になりましたが、この1年間、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に格段のご理解・ご協力を賜りましたこと心から感謝申し上げます。昨年11月に実施した学校評価に関するアンケートの集計結果を掲載しました。ご協力ありがとうございました。今後も、保護者、地域の方々から信頼される学校づくりを目指して教職員一丸となり取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。